

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県 本巣市

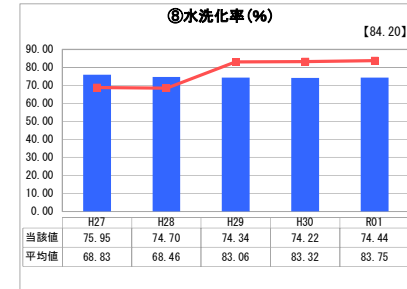
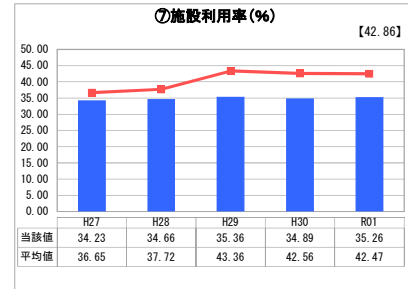
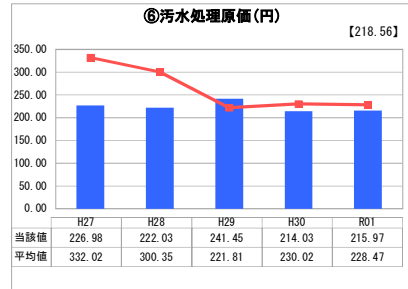
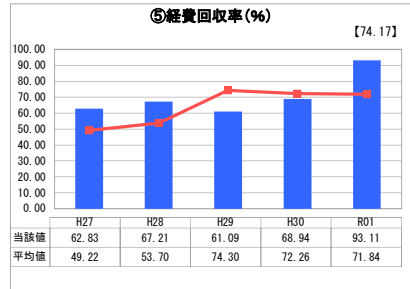
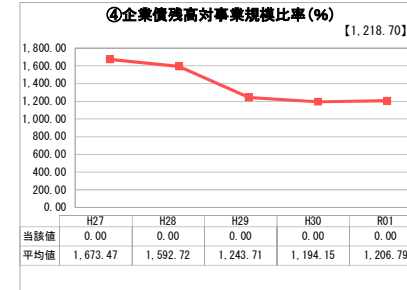
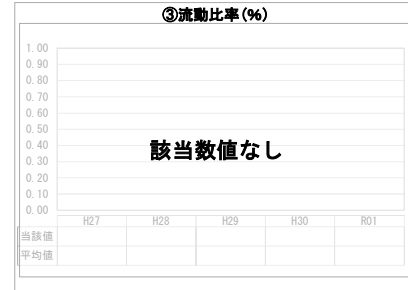
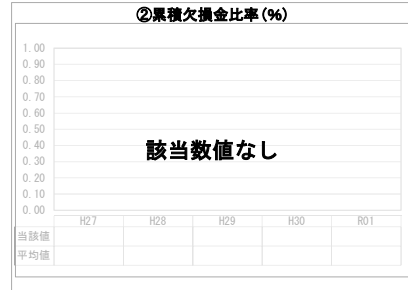
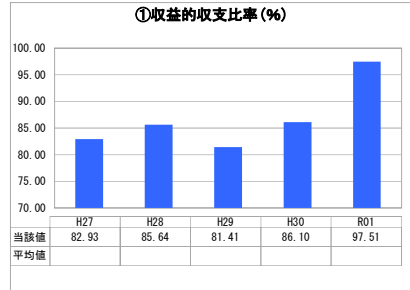
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	21.10	71.70	4,070

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
34,183	374.65	91.24
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
7,180	3.02	2,377.48

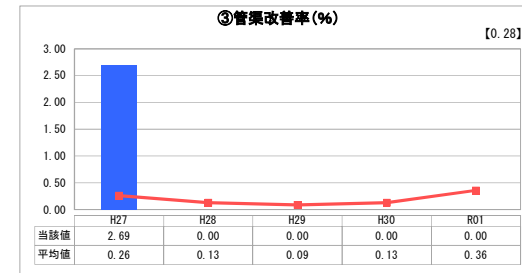
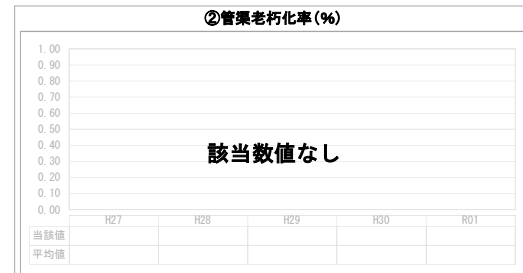
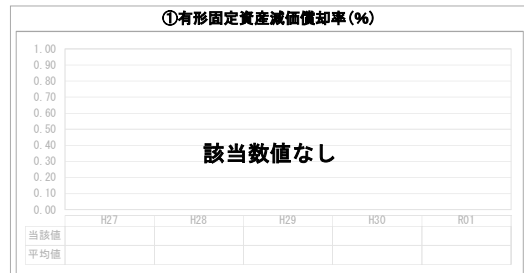
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%を下回っており、汚水処理費を一般会計からの繰入金で賄っている現状です。

施設整備については終了しており、今後新たに借り入れる企業債は減っていくため、償還額は令和3年度をピークに減少していく見込みです。そのため、現在費用の多くを占めている企業債償還金が減ることにより、将来的に経営改善が見込めます。

収益的収支比率と経費回収率については平成30年度に比べて増加していますが、令和2年度に公営企業会計へ移行するため、令和元年度決算は令和2年3月31日で決算金額を算出しており、平成30年度との決算時期の違いにより下水道使用料や汚水処理費の額が少なくなっている事が要因です。

施設利用率及び水洗化率はほぼ横ばいで、類似団体の平均値より低い数値となっているため、今後も水洗化率向上に努め、経費削減や料金収入の増加を計り経営の健全性を高める必要があります。

2. 老朽化の状況について

施設は平成14年度4月からの供給開始であり、比較的新しいことから耐用年数を迎えるまでには期間が有りますが、短期間で集中した整備を行っていることから、将来的に施設更新の時期が重なることを見据え、計画的な更新と財源確保をしていく必要が有ります。

全体総括

施設の整備が終了しており、今後新たな下水道への加入増加が収益の増加へとつながるため、下水道への転換や新規加入について広報などでPRし、接続率の向上を図る必要があります。さらに、効率的な施設の維持管理による経費抑制や、企業債の借り入れの抑制に努め、経営改善に努めます。

また、老朽化による将来的な施設更新を見据え、更新年度が重ならないよう計画を策定し、維持管理経費の削減と計画的な修繕を行い、効率的な事業運営に努めていく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。